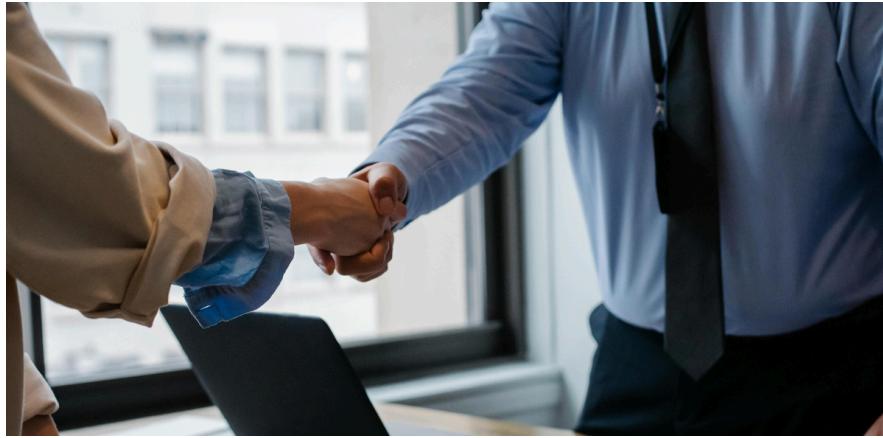


MONO TSUKURI NOW

【創刊の辞】 激動の現場に、即応の情報を。

いつもモノづくり通信をご覧いただいている皆様へ
本日ここに、八洲産業が総力を挙げてお届けする情報紙『モノづくりNOW』を創刊いたします。

現在、製造業界を取り巻く環境は、資源高騰や半導体不足、技術革新など、一週間単位で状況が劇変する「激動の時代」にあります。本紙は月一回発行のモノづくり通信とは別に「皆様にお伝えしたい重要ニュース」が入り次第、タイムリーに最新情報を届けしてまいります。



八洲産業の対応： グローバルワンストップ供給で現場を支援

未曾有の資材不足に対し、八洲産業は「グローバルワンストップサプライヤー」として、国内外のメーカーを問わず、お客様の調達業務を強力にバックアップします。

▼ 海外調達

時間がかかる傾向のある海外製品のメーカーからの回答を直接、コンタクトすることにより確度を上げる対応を行います。

▼ グローバルワンストップサプライヤー

八洲産業は国内外問わず多くのメーカーと取引を行っています。我社にお任せいただければ、1社にて見積・回答・注文の管理コストを低減することをご協力いたします。

業界トレンド&メーカー最新ニュース

メモリ半導体も「AI特需」で暴騰 —パソコン価格は20%アップ

半導体市場も激震が走っている。生成AI用HBM（高帯域幅メモリ）への生産シフトにより、汎用DRAMの供給が極端にタイト化。2025年末から1ヶ月で15%以上の価格上昇を見せており、PCメーカー大手は、2026年第1四半期中にPC本体価格を15~20%引き上げる見通しだ。

供給網を揺るがす「ダブル高騰」の衝撃

銅建値、未曾有の200万円突破—電線・モーターへ波及必至

2026年に入り、製造現場を支える基幹資材の価格が異次元の局面を迎えていた。国内銅建値は1月、1トン当たり215万円の過去最高値を記録。インドネシアやチリの主要鉱山における操業トラブルに加え、EV（電気自動車）および生成AI向けデータセンターでの需要爆発が拍車をかけている。



この影響を最もダイレクトに受けているのが電線業界だ。大手電線メーカー各社は1月以降、製品価格の30~50%という大幅な値上げを打ち出した。さらに深刻なのがモーター類への影響だ。内部の巻線（銅線）コスト上昇により、汎用モーターからサーボモーターに至るまで、各社が価格改定の準備を進めている。

MONO TSUKURI NOW



深刻な「LED工事難民」の発生 — 2027年問題が目前に

「水俣条約」に伴う一般照明用蛍光灯の製造終了（2027年末）を前に、駆け込み需要が限界に達している。2026年1月から順次、国内での製造・輸出入が規制されたことで、直管形LEDランプの品薄が加速。さらに深刻なのが「電気工事士不足」だ。

今から発注しても「年内の工事が困難」という地域が続出している。八洲産業では、提携施工ネットワークをフル活用し、最短工期でのリプレイスを支援する特設窓口を設置。早めの現地調査をお勧めしている。



産業用ラズパイ KUNBUS Revolution Pi 4月より7%の値上げへ

産業用PC市場で高いシェアを誇るドイツ・KUNBUS社は、同社の主力製品である「Revolution Pi（レボリューションパイ、通称：RevPi）」シリーズの価格を、2026年4月1日受注分より一律7%引き上げると発表した。

今回の値上げは、世界的な部材コストの上昇およびエネルギー価格の高騰に伴う物流費の増大を受けたものだ。同社は「高品質な産業グレードの製品供給と、迅速なサポート体制を維持するためには、自助努力のみでのコスト吸収が困難な状況に至った」と説明している。

八洲産業では、4月の改定を前に、現在稼働中のプロジェクトや新規導入を検討中のお客様に対し、早期の発注・在庫確保の相談を呼びかけている。



※コーポレートカラー、ロゴの追加などのカスタマイズが可能



【編集後記】

創刊号をお読みいただきありがとうございます。次号は、市況の大きな変動や、皆様の業務に直結する新技術の情報が入り次第、迅速に発行いたします。現場の「困りごと」は、いつでも弊社担当までお寄せください。（市場調査部）



八洲産業HP
にも更新中